

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●サートウルナーリアが無敗のまま皐月賞制覇

4月14日(日)に行われた皐月賞(G I)では、サートウルナーリア(牡3歳/栗東・角居勝彦厩舎)が勝利しました。無敗のまま皐月賞を制したのは2005年ディープインパクト以来14年ぶりで史上7頭目のこと。前走から中106日での優勝は皐月賞における最長間隔勝利で、年明け初戦での皐月賞制覇は史上初のこととなります。また同馬に騎乗したクリストフ・フルメール騎手(栗東・フリー)は、史上9人目となる3歳クラシック完全制覇を果たしました。

### ●オジュウチョウサンが中山グランドジャンプ4連覇を達成

4月13日(土)に行われた農林水産省賞典中山グランドジャンプ(J・G I)ではオジュウチョウサン(牡8歳/美浦・和田正一郎厩舎)が優勝し、同レース4連覇を達成しました。同一重賞4連覇はJRA史上初の快挙。またJ・G Iは6勝目、障害重賞は11勝目となり、いずれも自身の持つ最多勝記録を更新しています。

### ●シャケトラが死亡

2019年阪神大賞典(G II)などの勝ち馬シャケトラ(牡6歳/栗東・角居勝彦厩舎)は、4月17日(水)、調教中に左第1指骨粉碎骨折を発症し、予後不良となりました。JRA通算成績は13戦6勝でした。

### ●ダイアナヘイローの競走馬登録抹消

2018年阪神C(G II)などの勝ち馬ダイアナヘイロー(牝6歳/栗東・大根田裕之厩舎)は、4月17日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は27戦8勝で、北海道新ひだか町の岡田牧場で繁殖馬となる予定です。

### ●ヒシアマゾンが死亡

米ケンタッキー州のPolo Green Stableにて繋養されていたヒシアマゾン(牝28歳)が、現地時間4月15日(月)、老衰のため死亡しました。同馬は1993年阪神3歳牝馬S(現 阪神ジュベナイルフィリーズ)や1994年エリザベス女王杯を制し、1993年に最優秀3歳(現2歳)牝馬、1994年に最優秀4歳(現3歳)牝馬、1995年に最優秀5歳(現4歳)以上牝馬と3年連続でJRA賞を受賞。JRA通算20戦10勝の成績を残して引退し、米国で繁殖牝馬として供用された後、繋養先で余生を送っていました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●マリーンC(船橋)はラーゴブルー、オウケンビリーヴは競走除外

マリーンC(Jpn III、4月17日、船橋、1600m)は、3番手を追走した3番人気の川崎所属馬ラーゴブルー(御神本訓史騎手、牝5歳、父ハーツクライ)が、逃げた単勝1.7倍で1番人気のアイアンテラーを直線半ばで捉え、ダートグレード競走初制覇。2番人気のリエノテソーロは3着でした。なお、実質的に断然の1番人気だったオウケンビリーヴは、ゲート内で暴れて突進した際に左後肢を挫創したため、競走除外となりました。

### ●ジンギが人気に応じて菊水賞(園田)に優勝【各地の主要3歳重賞】

菊水賞(4月11日、園田、1700m)は、2番手を進んだ単勝1.7倍で断然人気のジンギ(牡、父ロードカナロア)が4コーナー手前で先頭に立って後続を5馬身引き離し、園田ユースCに続いて重賞2連勝を達成。東海クイーンC(4月16日、名古屋、1800m、牝馬)は、先手を取った若草賞馬ゴールドリング(父エスポワールシチー)が6馬身差で圧勝、単勝元返しの圧倒的支持に応じてこちらも牝馬限定重賞を連勝しています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1クイーンエリザベスS~ウィンクスが有終の美を飾る

4月13日にオーストラリアのランドウィック競馬場で行われたG1クイーンエリザベスS(3歳上、芝2000m)はH.ボウマン騎手騎乗のウィンクス(牝7歳、父ストリートクライ、C.ウォラー厩舎)が単勝1.06倍の圧倒的な支持に応じて差し切り勝ち。引退レースを白星で飾りました。1.5馬身差の2着には日本調教馬のクルーガーが入りました。ウィンクスは2015年5月のG3サンシャインコーストギニーから33連勝(オセアニア新記録、全て重賞)。G1は世界新記録の25勝で、総獲得賞金も世界新記録の2645万1174豪ドル(約23億2770万円/1豪ドル88円で換算)。通算成績は43戦37勝、2着3回。1100mから2200m、良馬場から不良馬場で勝利を収め、G1コックスプレート(芝2040m)では史上初の4連覇を果たしました。

### ●G1アーカンソーダービー~オマハビーチが重賞連勝

米アーカンソー州のオークローンパーク競馬場で4月13日に行われたG1アーカンソーダービー(3歳、ダート1800m)はオマハビーチ(牡3歳、父ウォーフフロント、R.マンデラ厩舎)が優勝。前走のG2レベルS(ダート1700m)に続く重賞連勝として、ケンタッキーダービーの有力候補に浮上しました。